

北信地域障がい福祉自立支援協議会 議事録

部会名 第2回 そだちネットワーク部会

開催日時 令和8年7月16日（木）
15:30～17:00

参加者所属機関名等 飯山支援学校・北信保健福祉事務所・中野市・飯山市・山ノ内町・木島平村・栄村
野沢温泉村・児童養護施設いはいやま・事務局（北信圏域障害者総合相談支援センター ぱれっと）

本日のテーマ、課題等

- （１）全体共有 （２）新体制の説明 （３）ワールドカフェ方式での新体制についての意見交換・発表
（４）各チームでの意見交換や情報共有、検討内容など・発表 （５）その他、次回の部会の予告

（１）全体共有

①自立支援協議会、多部会からの報告：事務局小野より

○精神部会

- ・9/9（水）に「問題解決しない事例検討会」をテーマに精神部会拡大会議の開催を企画している。部会員以外にも広く告知しているのでぜひご参加を。

○重心・医ケア部会

- ・県医療的ケア児等支援センターの動きとして給電車の取り組みについての話ができています。部会としても地域課題PJの中で話題としていきたい。
- ・親の会（ほくしん・といろの会）の開催が10/1に決定した。
家族同士の交流の場に加え、ニーズ把握という部分を目的にしている

②フォーラム実行委員会からの報告：事務局坂爪より

- ・第2回実行委員会を7/16に開催した。昨年度作成した動画やリーフレットの活用進捗の確認、フォーラム開催方法やテーマ（コンセプト）等の検討をした。
- ・フォーラムのテーマの大枠は“グレーゾーンのお子さんの子育てや地域の中でのフォロー体制について”という方向になった。今年度は残り2回の実行委員会の中で、来年度の開催を目指して案を具体化していく。

③各研修の報告（飯山支援学校特別支援教育連携協議会）：渡邉部会長より

- ・今年度の連携協議会は6月に春の会、11月の秋の会を開催。飯水中高地区の特別支援教育に携わる100を超える関係者、関係機関の集合体となっており、この地域においてとても強い組織になっている。そこに加え、研修の機会としてIYAMA☆まなびフェス（春・夏）を2回、飯山支援学校スキルアップ研修の公開研修を4回開催。

④県療育部会より：事務局邊田より

- ・第3回県療育部会を11月11日（水）に予定。その回は“事例を交えた地域の特色に合わせた支援”というテーマで拡大研修として実施するので、ご都合つく方はぜひご参加下さい。場所や時間等は決まり次第周知する。

⑤北信圏域発達障がい診療関係者研修会：北信保健福祉事務所青山さんより

- ・令和8年度北信圏域発達障がい診療関係者研修会の企画として、8/27（木）に東口メンタルクリニックの鷲塚院長に「思春期の発達障がい児診療の現状と課題」をテーマにした講演を予定。ぜひご参加を。

⑥その他

令和8年度の開催予定や研修内容（IYAMA☆まなびフェス）等を飯山支援学校事務局より説明。

(2) 新体制の説明：事務局邊田より

これまでの部会活動を通じて、地域の後方支援を担う関係機関・支援者間における共通認識や連携体制はある程度充実してきた。一方で、今後、インクルージョンの推進や地域全体での支援力向上をさらに進めていくためには、保育・教育・福祉等の現場レベルにおける共通認識の形成や横のネットワーク強化を図っていくことが重要となる。そのため、従来の課題検討中心の部会運営から、先行事例や実践、制度運用の工夫等を地域内で共有・波及させる視点を重視し、地域全体への普及・展開につながる部会活動へと重点を移していく。

(3) ワールドカフェ方式での新体制についての意見交換・発表

A・B・C・D・Eチームにわかれて部会の新体制について意見交換をした。

多くは、新体制について前向きな意見であった。今後、運営委員会内で共有していく。

(4) 各チームでの意見交換や情報共有、検討内容など・発表

①学校教育チーム

- ・特別支援教育に関わる生徒数⇒中高飯水版 6市町村の実態調査を数値化

- ・適切な学びの場の検討について

学びの適切な場の見直し どのくらい適切な学びの場に戻っているのか実態調査

就学前、22条、756条、学びの場の内容を6市町村で共有したい。共通の認識を持って教育委員会が旗振り役を。

- ・市町村教育委員会の資料に示されている「判断報告書」の支援・指導内容が反映されているかの実態調査

②母子保健チーム

- ・中野市単独事業のダウン症児親の会については圏域合同開催にしていきたいという方向になったので、次回の運営委員会にあげていく予定。
- ・管内母子保健担当連携会議では一般施策の部分を扱い、母子保健チームでは福祉や障がい部分を扱うというような住み分けを行った。

③子ども家庭支援チーム

- ・今年度、6市町村ごとに子ども家庭支援センターが設置され、その中の動きについて今後共有していきたいという話題が上がった。
- ・児童養護施設いいやまでは、令和9年度に施設の中に児童家庭センターの設置を…という流れがある。子ども家庭センターとの役割の明確化をしていきたいのでチームの中で情報をもらってきたい。

(5) その他

- ・第3回部会の告知

→次回のテーマ 「高次脳機能障害」

国の新しい施策やこの圏域内でも個別の症例がある中で、第3回の部会で、テーマとして扱ってきたい。

可能であれば、専門職をお呼びしてお話をお聞きできればと考えている。